



ぽっかぽか



早いものでうさぎ組での生活もあと二ヶ月となりました。笑顔いっぱい！やる気いっぱい！の子どもたち。残りわずかではありますが、寒さに負けない体づくりと、自己決定や自主性の基本である「自分でやる！」気持ちを表現できる関わりを継続していきます。必要に応じて進級に向けた面談も行いますのでお気軽にお声掛け下さい。

着る？着ない？～上着ものがたり～



寒さが徐々に増しています。この時期、隣の長久保公園は午前中日陰になってしまうので、大人の気持ちとしては子ども達に上着を着てほしいのが本音…。でも「着ない」「着たくない」という子たちもいます。ご家庭ではそんな時どうされていますか？

クラスでは本人の「着ない」という気持ちと意思を受け止めた上で(※子どもの言葉を受け入れて言いなりになるのではなく、あくまでも「受け止め」です)、「外は寒いと思うよ。ちほさんは着たほうが良いと思うけどな」と提案します。そうすると「やっぱり着よっかな」と着る子もいれば、それでも着ない子もいます。着ないことにはその子なりの理由があるのでしょうか。ですから、そこは子どもと相談です。寒かったらどうするか、上着は持っていくのか持って行かないのか、持っていくなら誰が持っていくのか…考えるパターンを上げて見通しをつけて話すと、先日はAくんが「じゃあ、帰ってくるときに着るね」と笑顔で答えてくれました。

「上着は外に行くために着るのだから、帰ってくる時じゃあ意味がない」と思うかもしれませんが。私もちょっと心の中で苦笑いしてしまいましたが、これがその子なりに考えて出した答えです。こうやって安心できる環境、信頼できる大人と言葉を交わして先の見通しをつけ、自分の意思を他人に伝える術を、子ども達は生活を通して学んでいるのだなあとい日々感心しています。

寒い冬の体づくりは
「押し相撲」!

「ねえねえ、あってる？」と大人に確認しながら着る子どもたち。援助するときは理解しやすいように順を追ってファスナーの閉め方、ボタンの留め方を一緒に行なっています。右手と左手はどこを持って、どちらの手で引っ張るのか…大人が少し手助けするだけで「もう自分でやる」と言い集中して取り組んでいる子どもたちです♪



子ども会ご来場ありがとうございました！
練習もこんなに集中していた子どもたちです♪